

平成26年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 夢真ホールディングス  
 コード番号 2362 URL <http://www.yumeshin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 佐藤 真吾

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 佐藤 大央

四半期報告書提出予定日 平成26年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 03-5981-0672

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年9月期第3四半期の連結業績(平成25年10月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年9月期第3四半期	12,113	32.2	1,365	38.3	2,490	103.4	1,853	141.9
25年9月期第3四半期	9,162	12.6	986	10.0	1,224	26.9	766	33.3

(注) 包括利益 26年9月期第3四半期 1,805百万円 (79.3%) 25年9月期第3四半期 1,006百万円 (78.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年9月期第3四半期	28.68	27.91
25年9月期第3四半期	12.67	12.41

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年9月期第3四半期	12,188	7,403	56.7
25年9月期	9,915	5,378	50.4

(参考) 自己資本 26年9月期第3四半期 6,906百万円 25年9月期 4,996百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年9月期	—	3.00	—	17.00	20.00
26年9月期	—	10.00	—	—	—
26年9月期(予想)	—	—	—	20.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(平成26年7月31日)公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

3. 平成26年9月期の連結業績予想(平成25年10月1日～平成26年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
通期	18,000	43.6	3,200 ～4,200	80.7 ～137.1	2,100 ～2,600	51.2 ～87.2	円 銭 33.31 ～41.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年9月期3Q	74,573,440 株	25年9月期	74,573,440 株
26年9月期3Q	9,032,486 株	25年9月期	11,532,486 株
26年9月期3Q	64,642,602 株	25年9月期3Q	60,501,485 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続きは終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料5ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	6
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	6
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	6
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	6
3. 四半期連結財務諸表	7
(1) 四半期連結貸借対照表	7
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

① 連結の業績概況

当第3四半期連結累計期間（2013年10月1日～2014年6月30日）におけるわが国経済は、消費税増税による駆け込み需要から、その反動が生じるなど不安定な要素もありましたが、各企業におきましては設備投資の着実な改善などにより、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。

建設業界におきましては、復興関連予算の執行による政府建設投資の増加が下支えとなり、また、民間設備投資も増加基調で受注環境は回復傾向が鮮明になっております。特に、首都圏での改修・補修工事、耐震補強工事の増加、住宅ローン減税の延長による新設マンションの堅調な着工戸数など、その需要は顕著となっております。一方、このような市場環境に対し、職人およびゼネコン各社が抱える施工管理者の「高齢化」「若手不足」が深刻化しており、全国的に建設就業者が不足する事態が生じております。

このような事業環境の下、当社では、建築技術者派遣事業の成長拡大を最優先課題とし、全国的な建設工事の更なる増加を見据え、技術者の採用活動に注力してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、下表のとおりとなりました。

(単位：百万円)

	2013年9月期 第3四半期累計	2014年9月期 第3四半期累計	増減	増減率
売上高	9,162	12,113	+2,951	32.2%
営業利益	986	1,365	+379	38.3%
経常利益	1,224	2,490	+1,266	103.4%
四半期純利益	766	1,853	+1,087	141.9%

② セグメント別の業績概況

当社グループの報告セグメントは「建築技術者派遣事業」、「エンジニア派遣事業」、「子育て支援事業」および「医療介護支援事業」の4つとなります。

各セグメントの主な事業および事業会社については、下表をご参照ください。

セグメント名	主な事業の内容	事業会社名
建築技術者派遣事業	・ 建築現場への施工管理技術者派遣 ・ CADオペレーター派遣	㈱夢真ホールディングス
エンジニア派遣事業	・ 製造業メーカーへのエンジニア派遣	㈱夢テクノロジー ㈱ユニテックソフト
子育て支援事業	・ 保育所の運営 ・ 保育士の派遣	㈱我喜大笑
医療介護支援事業	・ デイケアサービス施設の運営	

セグメント別の業績については、下記のとおりとなります。なお、セグメント利益は四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行った数値となります。

(a) 建築技術者派遣事業

(単位：百万円)

	2013年9月期 第3四半期累計	2014年9月期 第3四半期累計	増減	増減率
売上高	5,900	8,592	+2,691	45.6%
セグメント利益	938	1,269	+331	35.3%
期中採用人数	936人	1,304人	+368人	—
四半期末技術者数	1,551人	2,276人	+725人	—

<当事業の概況>

当社グループの中核事業であります建築技術者派遣事業におきましては、ゼネコン各社が抱える技術者の「高齢化」「若手不足」の影響により、派遣需要は旺盛に推移いたしました。また、今後想定される国土強靱化計画に基づく全国的なインフラ整備工事、東北地方の復興工事の本格化およびオリンピック関連工事に備え、技術者を増員するべく年間採用人数1,600人の計画を打ち出し採用活動に注力してまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間にて1,304人（前年同期936人）の入社となり、それに伴い6ヶ月間の平均技術者数は2,036人（前年同期1,264人）、2014年6月末現在の在籍技術者数は2,276人（前年同月1,551人）となっております。

<当事業の業績>

売上高に関しましては、技術者の増員による稼働人数の増加により、前年同期比2,691百万円（45.6%）増加の8,592百万円となりました。

セグメント利益に関しましては、売上高の増加に加え、前第3四半期連結会計期間（2013年4～6月）にて、一時的に低下した稼働率・派遣単価が堅調に回復したことで、売上総利益率が上昇いたしました。（下表「（ご参考）四半期連結会計期間毎の業績推移」をご参照ください。）

また、第1四半期連結会計期間（2013年10～12月）において、求人媒体への出稿数を増加させたことやTVコマーシャルの放映など、積極的な採用活動により先行して費用が増加しましたが、活動内容を精査し効果の高い施策のみに絞ったことにより、販売費及び一般管理費が当第3四半期連結会計期間（2014年4～6月）では467百万円（売上高比率15.9%）と、第1四半期連結会計期間502百万円（売上高比率19.1%）と比較し減少いたしました。以上の結果、前年同期比331百万円（35.3%）増加の1,269百万円となりました。

(ご参考) 四半期連結会計期間毎の業績推移

(単位：百万円)

	2013年9月期				2014年9月期		
	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期	第3四半期
売上高	1,892	2,070	1,938	2,262	2,633	3,029	2,930
売上原価	1,231	1,318	1,400	1,627	1,852	2,003	2,048
原価率	65.1%	63.7%	72.2%	71.9%	70.4%	66.2%	69.9%
売上総利益	661	751	538	635	780	1,025	881
総利益率	34.9%	36.3%	27.8%	28.1%	29.7%	33.9%	30.1%

(b) エンジニア派遣事業

(単位：百万円)

	2013年9月期 第3四半期累計	2014年9月期 第3四半期累計	増減	増減率
売上高	2,920	3,099	+179	6.1%
セグメント利益	220	258	+38	17.5%

<当事業の概況>

エンジニア派遣事業におきましては、主要顧客である製造業各社において、自動車メーカーを中心として、輸出の改善により生産は堅調に推移していました。また、情報系エンジニアの派遣先となるIT業界において、ここ数年抑制していた各企業のシステム投資が持ち直しの動きをみせております。

このような事業環境の下、主に採用強化及び新規顧客の開拓、稼働率の改善を営業施策の柱として取り組んでまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,099百万円（前年比6.1%増）、セグメント利益は258百万円（前年比17.5%増）となりました。

(c) 子育て支援事業

(単位：百万円)

	2013年9月期 第3四半期累計	2014年9月期 第3四半期累計	増減	増減率
売上高	189	201	+11	6.1%
セグメント利益	38	48	+10	28.4%

<当事業の概況>

子育て支援事業におきましては、待機児童が多く保育サービスの需要が高い東京都及び神奈川県において、認証保育所を4箇所運営しております。また、併せて保育士の派遣を行っており、施設の提供並びに人材の供給を実施してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は201百万円（前年同期比6.1%増）、セグメント利益は48百万円（前年同期比28.4%増）となりました。

(d) 医療介護支援事業

(単位：百万円)

	2013年9月期 第3四半期累計	2014年9月期 第3四半期累計	増減	増減率
売上高	151	219	68	45.6%
セグメント利益	0	6	6	1,526.1%

<当事業の概況>

医療介護支援事業におきましては、高齢社会が進む中、医療及び介護サービスへのニーズが日ごとに増加していることを受け、デイサービス施設を東京都にて4箇所運営してまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は219百万円（前年同期比45.6%増）、セグメント利益は6百万円（前年同期は0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,273百万円増加し、12,188百万円となりました。これは主に現金及び預金の増加1,065百万円、受取手形及び売掛金の増加527百万円、有形固定資産の増加502百万円によるものです。

(負債)

当第3四半期連結会計期間における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて248百万円増加し、4,785百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加460百万円、借入金の減少529百万円等によるものです。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて2,025百万円増加し、7,403百万円となりました。これは主に資本剰余金の増加1,597百万円、四半期純利益1,853百万円、剰余金の配当による減少1,727百万円等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年9月期の連結業績予想につきましては、平成25年10月31日に公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。



3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,245,553	5,311,159
受取手形及び売掛金	1,860,199	2,387,230
有価証券	16,772	22,517
たな卸資産	812	1,112
その他	356,406	488,181
貸倒引当金	△22,269	△48,263
流動資産合計	6,457,474	8,161,938
固定資産		
有形固定資産	1,465,230	1,968,179
無形固定資産		
のれん	515,802	409,030
その他	37,161	26,415
無形固定資産合計	552,963	435,446
投資その他の資産		
投資有価証券	1,166,416	1,115,394
その他	315,824	557,544
貸倒引当金	△42,352	△49,671
投資その他の資産合計	1,439,888	1,623,267
固定資産合計	3,458,082	4,026,893
資産合計	9,915,557	12,188,831
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,425	9,774
短期借入金	—	100,000
1年内返済予定の長期借入金	839,560	797,850
未払法人税等	377,644	838,103
賞与引当金	190,412	216,019
その他	1,038,324	1,328,020
流動負債合計	2,455,366	3,289,767
固定負債		
長期借入金	1,648,780	1,060,820
退職給付引当金	270,069	281,896
資産除去債務	2,126	1,550
その他	161,170	151,501
固定負債合計	2,082,146	1,495,768
負債合計	4,537,513	4,785,535

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	805,147	805,147
資本剰余金	2,204,895	3,802,770
利益剰余金	3,322,668	3,449,359
自己株式	△1,290,472	△1,012,972
株主資本合計	5,042,237	7,044,303
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45,912	△138,141
その他の包括利益累計額合計	△45,912	△138,141
新株予約権	5,518	18,445
少数株主持分	376,199	478,688
純資産合計	5,378,043	7,403,296
負債純資産合計	9,915,557	12,188,831

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
売上高	9,162,058	12,113,616
売上原価	6,563,645	8,713,361
売上総利益	2,598,412	3,400,254
販売費及び一般管理費	1,611,464	2,035,024
営業利益	986,947	1,365,229
営業外収益		
受取利息	2,693	2,892
受取配当金	12,538	5,840
投資有価証券売却益	76,676	958,933
受取家賃	53,948	64,011
補助金収入	110,538	139,659
その他	64,207	50,143
営業外収益合計	320,602	1,221,481
営業外費用		
支払利息	41,976	32,097
賃貸収入原価	20,744	23,896
その他	20,151	39,807
営業外費用合計	82,872	95,801
経常利益	1,224,677	2,490,909
特別利益		
固定資産売却益	—	1,912
子会社株式売却益	—	299,756
違約金収入	—	196,776
その他	—	800
特別利益合計	—	499,246
特別損失		
投資有価証券評価損	—	15,150
和解金	29,338	—
その他	640	1,480
特別損失合計	29,978	16,630
税金等調整前四半期純利益	1,194,698	2,973,525
法人税、住民税及び事業税	403,635	1,141,547
法人税等調整額	△14,669	△69,908
法人税等合計	388,965	1,071,638
少数株主損益調整前四半期純利益	805,733	1,901,886
少数株主利益	39,374	48,089
四半期純利益	766,358	1,853,796

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年10月1日 至平成26年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	805,733	1,901,886
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	201,030	△96,374
その他の包括利益合計	201,030	△96,374
四半期包括利益	1,006,763	1,805,511
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	948,299	1,761,567
少数株主に係る四半期包括利益	58,464	43,943

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

1. 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

当第3四半期連結累計期間において、当社の新株予約権が行使されたことにより、資本剰余金が1,337,350千円増加、自己株式が499,499千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が2,204,895千円、自己株式が△1,290,472千円となっております。

2. 当第3四半期連結累計期間(自平成25年10月1日至平成26年6月30日)

当第3四半期連結累計期間において、当社の新株予約権が行使されたことにより、資本剰余金が1,597,875千円増加、自己株式が277,500千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において、資本剰余金が3,802,770千円、自己株式が△1,012,972千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	5,900,803	2,920,581	189,635	151,038	9,162,058	9,162,058
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,900,803	2,920,581	189,635	151,038	9,162,058	9,162,058
セグメント利益	938,601	220,065	38,047	417	1,197,133	1,197,133

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,197,133
のれんの償却額	△62,561
全社損益(注)	90,106
四半期連結損益計算書の経常利益	1,224,677

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない財務関連の損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年10月1日 至 平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	建築技術者 派遣事業	エンジニア 派遣事業	子育て 支援事業	医療介護 支援事業	計	
売上高						
外部顧客への売上高	8,592,781	3,099,827	201,165	219,841	12,113,616	12,113,616
セグメント間の 内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	8,592,781	3,099,827	201,165	219,841	12,113,616	12,113,616
セグメント利益	1,269,775	258,662	48,853	6,796	1,584,088	1,584,088

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の  
主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,584,088
のれんの償却額	△57,917
全社損益(注)	964,738
四半期連結損益計算書の経常利益	2,490,909

(注) 全社損益は、主に報告セグメントに帰属しない財務関連の損益であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。